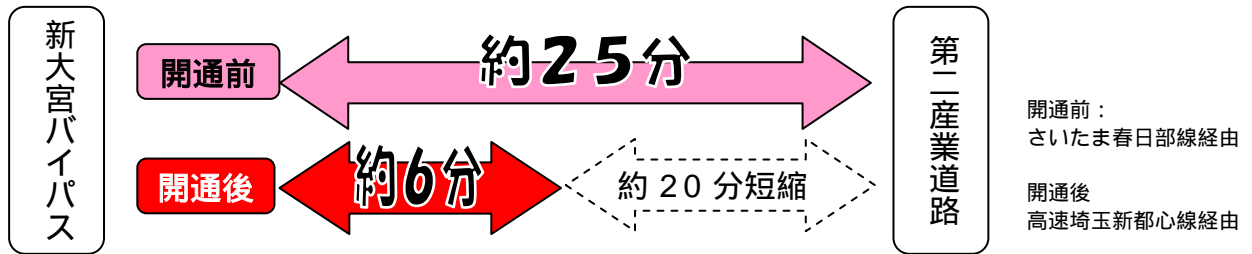


開通について

今回開通区間の効果

- (1) 高速道路を利用することで、さいたま市を中心とした**東西方向の移動時間が大幅に短縮されます。**



周辺道路経由：平成16年度実測調査結果（ピーク時）
 高速経由：推計値

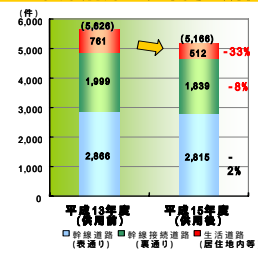
- (2) 周辺道路を利用していた交通が高速道路を利用することで、**産業道路やたつみ通りなどでは交通量が1割程度減少し、流れがスムーズになり、周辺道路の事故が減少することも期待されます。**



周辺道路の混雑状況
 （産業道路）

- (参考) 中央環状王子線（平成14年12月開通）沿線の生活道路では死傷事故が開通前に比べ3割減少しました。

王子線沿線の死傷事故件数



中央環状王子線 L=7.1km
 H14.12.25 開通



(国土交通省関東地方整備局調べ)

【出典】警視庁統計データ

- (3) 周辺道路を含んだ時間短縮、事故減少などの**経済効果は年間約140億円**です。
- (4) 車の流れがスムーズになると走行車両の排出ガス量も減少するため、**環境も改善**されます。（走行速度が20km/h 60km/hになるとCO₂の排出量は4割減）

CO₂ 約3万t-CO₂/年削減



の面積の森林が
 1年間に吸収する量に
 相当

森林の二酸化炭素吸収量 10.6t-CO₂/ha・年
 出典：土地利用、土地利用変化及び林業に関する
 グッド・プラクティス・ガイド（優良指標指針）
 大宮公園の面積 67.8ha 出典：埼玉県HP

NOx 約90t/年削減



普通自動車21,000台が
 電気自動車におきかわる
 効果に相当

普通自動車のNOx排出量 0.21g/km・台
 出典：国土技術政策総合研究所資料を基に計算
 平均走行距離 55km

SPM 約6t/年削減



の量に相当

ペットボトル500ml1本あたりSPM100g



(5) 見沼田んぼは首都近郊に残された数少ない緑地空間であり、自然環境へ配慮し、**首都高初のビオトープ整備** (6.3ha) を行います。
 さらに周辺の動植物に配慮し、約 1km にわたって 12m 間隔 (173 個) で、光の漏れ出しの少ない照明を設置しました。

ビオトープ：地域の野生の生き物たちが暮らす自然
 (財) 日本生態系協会 HP より



首都高沿いに整備される
 ビオトープ
 (将来のイメージ)



光の漏れ出しの少ない照明

今回開通区間の概要

路線名称： 高速埼玉新都心線

開通日時： 平成 18 年 8 月 4 日 (金) 15 時

開通区間： 新都心～さいたま見沼 (延長 3.5 km)

(さいたま市中央区新都心～緑区大字三浦)

開通する出入口： 新都心西 (中央区上落合七丁目)：第二産業道路方面の出入口

新都心 (大宮区北袋町二丁目)：第二産業道路方面の出入口

さいたま見沼 (緑区大字三浦)：新都心方面の出入口

構造： 高架 1.8km、半地下・平面 0.2km、地下 1.5km

事業費： 約 950 億円 (暫定 2 車線整備などのコスト縮減を行っています)

料金： 普通車 400 円、大型車 800 円 (美女木 (外環)～さいたま見沼間均一料金)
 新都心 (産業道路)～さいたま見沼 (第二産業道路) 間 (1.4 km)
 は ETC 普通車 300 円、ETC 大型車 600 円

今回開通区間の特徴

埼玉新都心線はさいたま市の中心部を**東西方向に通過する**初めての**高速道路**です。
 新大宮バイパスや国道 17 号、産業道路、第二産業道路など、さいたま市を南北に走る主要幹線からご利用いただけます。

さいたま新都心付近

さいたまスーパーアリーナ等と一体的に建設された**首都高最長のトンネル**「新都心トンネル (延長約 2.9km)」でさいたま新都心を通ります。

「新都心トンネル」には非常電話、非常口、水噴霧設備など、万が一の際にお客様の安全を確保する設備を設置しております

見沼田んぼ付近

見沼田んぼでは、**首都高初のビオトープ**を整備します。



首都高最長のトンネル
 「新都心トンネル」